

ひょうごボランティアプラザ 熊本地震災害にかかる支援

1 支援活動のネットワーク <資料①>

- (1) 県災害ボランティア支援団体等による支援活動(4/21-24・第1回ボランティアバス) 報告会
- (2) 情報共有のメーリングリスト

- ①「災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議」メーリングリスト
- ②「くまモンはばタン」 (1)の参加団体によるメーリングリスト
- ③「火の国会議」メーリングリスト

※現地では毎日支援団体が連絡会議を開催し、その議事録を共有している。

②に参加している関西大学 菅准教授が③にも参加し、許可を得て、議事録を②へ情報提供している。(ボランティアプラザ 5/29 火の国会議に参画)

2 災害ボランティアバスの実施 <資料②>

一般県民ボランティアバス (ライオンズクラブ国際協会 335-A 地区との協働バスを含む)をはじめ、県災害ボランティア支援団体、県立舞子高校、青年会議所などの団体によるボランティアバスを実施 (計 7 回 307 名)

3 熊本地震災害ひょうご若者被災地応援プロジェクトの実施 <資料③>

日本イーライリリー株式会社 (本社：神戸市) からの「ふるさとひょうご寄附」により創設し、大学・高校生など、ひょうごの若者が継続して熊本地震災害の被災地で活動することを応援するもの (6 団体に助成決定、引き続き募集中)

4 支援活動のコーディネート

造形絵画教室「アトリエ太陽の子」(代表：中嶋洋子) の支援活動「命の一本桜プロジェクト」の活動先及び活動資金についてコーディネートした。

- 活動先 広安西小学校、御船中学校、滝尾小学校
- 活動資金 熊本地震復興サポート事業 (復興支援課)



5 災害ボランティア割引制度

第 1 次先遣隊派遣時に、今後のボランティア活動で多数乗船でき、比較的安価なフェリーの利用も有効と考え、(株)フェリーさんふらわあにボランティア割引を提案。以降、フェリー、高速バスなど、多数の会社が同様にボランティア割引を実施した。

6 プラザHPによる情報提供 <資料④>

熊本市地震災害に係る第1回災害ボランティアバス (県内災害ボランティア支援団体等)の結果について

ひょうごボランティアプラザでは、4月19日の第二次先遣隊による調査結果を踏まえ、様々な分野で被災地支援を進めるため、下記のとおり県災害ボランティア支援団体等による災害ボランティアバスを実施し、支援活動及び調査を行った。

- 1 活動日 平成28年4月22日(金)、23日(土) 2日間
行程 4月21日(木)夜発～24日(日)朝着(現地1泊、車中2泊)
- 2 活動場所 益城町内被災地及び益城町災害ボランティアセンター
- 3 参加者 20名
災害救援ボランティア支援関係団体連絡会議7名(プラザ、県社協含む)
NPO・ボランティア団体8名、災害ボランティア熟練者5名(ひょうご若者災害ボランティア隊含む)

4 活動内容

関西広域連合から益城町に派遣したボランティア統括コーディネーター、被災地支援NPOと連携し、ボランティアセンターや避難所の活動支援、被災地のニーズ把握

(1) 被災地の状況、ニーズ調査 A班 10名

① 4/22(金)

ア 町役場周辺地域(旧市街)被害状況・ニーズ調査

イ 総合体育館避難所(町内最大級)調査

避難所NPOリーダー石井布紀子氏(さくらネット)より、状況と課題の聞き取り、収容人員調査(4/23)の協議

ウ 参加者による1日目被災地の課題、支援状況の総括ミーティング
(コーディネート：野崎氏、東末氏、浅見氏)

② 4/23(土)

総合体育館避難所の面積、収容人員を調査し、データを避難所運営者(熊本YMCA)に提供。併せて避難者へのヒアリング

小アリーナ、武道場、通路等9区画延べ2,398 m²、避難人員608人

一人あたり居住面積3.94 m²

(2) 被災地支援ボランティア活動 B班 8名

① 4/22(金) 救援物資仕分作業(平田地区選果場)

② 4/23(土) 個人宅での散乱した家財道具の片付、廃棄物の選り分け・搬出
(町営住宅60代夫婦宅)

(3) ボランティアセンター運営支援 C班 2名

① 益城町ボランティアセンターの運営、ボランティアの受入状況

4/22(金) 394名(大雨により11時頃中止)

4/23(土) 500人超

受付を9時から8時40分に繰り上げ実施、9時20分ごろ終了

- ・ センター設営、運営は、全社協支援P、応援社協等が支援
- ・ 3～4割は県外、全国各地からボランティアが駆けつけた。

② 支援活動

ア 4/22(金) ボランティアセンターの運営状況調査、被災地・避難所の状況、ニーズ調査
イ 4/23(土)

(ア) ボランティアセンター駐車場対応と駐車場確保のため近隣駐車場等の調査

(イ) 応援社協との情報交換(大阪、和歌山、福岡、鹿児島、沖縄)

5 主な課題、今後の見込

- (1) 自宅の倒壊等により避難所生活が長期化する被災者も多く、早急な避難所の環境改善が必要である。
- (2) 個人宅の家財道具片付けなど被災者からのボランティアニーズが出てきており、今後ニーズの掘り起こしが進めば、さらにボランティア作業は増えるの見込まれる。

6 報告会の実施

- (1) 日 時 平成28年4月29日(金・祝) 18:30~20:30
- (2) 場 所 生活協同組合コープこうべ住吉事務所 7階大会議室
- (3) 参加者 第1回災害ボランティアバス参加者、災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議、ひょうご中間支援団体ネットワーク、ひょうご市民活動協議会(HYOGON) など
- (4) 内 容 ① 第1回災害ボランティアバスの活動報告
(被災地の状況、ボランティアセンターや避難所の状況、ニーズ調査の結果等)
② ①以外から知り得る被災地の状況と今後の支援等についての報告
③ 被災者支援に関する情報について
④ 各団体における今後の支援について

<参加者>

班	所属	氏名	班	所属	氏名
A	NPO法人神戸まちづくり研究所	野崎 隆一	B	兵庫ボランティア	村上 文敏
A	NPO法人神戸まちづくり研究所	浅見 雅之	B	兵庫ボランティア	滝川 文一
A	NPO法人コミュニティ事業支援ネット	東 朋子	B	兵庫ボランティア	黒石 和裕
A	NPO法人シミズシーズ	幾田 一輝	B	兵庫ボランティア	谷林 士朗
A	NPO法人しゃらく	小嶋 新	B	ひょうご若者災害ボランティア隊	大橋 草太
B	NPO法人兵庫県防災士会	西濱 靖雄	C	滋賀県社会福祉協議会	藤田 健介
B	NPO法人兵庫県防災士会	石塚 幹剛	C	兵庫県社会福祉協議会	杉田 健治
A	神戸大学学生ボランティア支援室	東末 真紀	A	ひょうごボランタリープラザ	鬼本 英太郎
A	生活協同組合コープこうべ	岡田 卓巳	A	ひょうごボランタリープラザ	柳瀬 長明
A	日本青年会議所兵庫ブロック協議会	玉水 浩二	B	ひょうごボランタリープラザ	板東 由佳恵



平成 28 年熊本地震災害（益城町） 兵庫県ボランティアの活動

資料②



地震により物が散乱した部屋の片付け



避難所となっている施設に届いた物資の運搬



選果場での救援物資の仕分け



応急危険度判定で危険(赤紙)のため、屋外での作業



倒壊したブロック塀や瓦の片付け

ボランティアバスの実施状況（予定を含む）					H28.7.15現在	
	出発日	帰県日	台数	人数	行き先	備考
先遣隊（1次）	4月15日	4月16日	－	4	大分県社協、別府市社協、(株)フェリーさんふらわあ	16日未明の本震により大分県にて調査・協議
先遣隊（2次）	4月18日	4月19日	－	3	熊本県（関西広域連合防災局）、県社協 益城町社協	
第1回	4月21日	4月24日	1	20	益城町被災地（熊本県上益城郡）	県内災害ボランティア支援団体等
第2回	4月25日	4月28日	2	40	益城町被災地	県民ボランティア
第3回	5月12日	5月15日	1	20	益城町被災地	県民ボランティア
第4回	6月9日	6月12日	1	20	益城町被災地	県民ボランティア（ライオンズクラブ335-A地区協働）
第5回	6月14日	6月25日	3	134	益城町被災地	県立舞子高等学校環境防災科
第6回	6月30日	7月3日	2	41	益城町東無田集落	県民ボランティア
第7回	7月30日	8月2日	1	25	益城町被災地	青年会議所

熊本地震災害ひょうご若者被災地応援プロジェクトの募集について

ひょうごボランティアプラザでは、日本イーライリリー株式会社（本社：神戸市）から「ふるさとひょうご寄附」（寄附先は兵庫県）を得て「熊本地震災害ひょうご若者被災地応援プロジェクト」を創設しました。

大学・高等学校・専門学校等に通う学生など、ひょうごの若者が今後も継続して熊本地震災害の被災地を応援するプロジェクトに対して経費を助成することにより、被災地復興を支援するとともに、今後の被災地支援を担う人材を養成します。

第一次の募集では6団体・グループの助成を決定したところです。

今後も引き続き募集を行いますので、多くのひょうごの若者のみなさまからの応募をお待ちしています。詳しくは、ひょうごボランティアプラザにお問い合わせください。

1 助成団体・グループ

県内在住、在学、在勤の若者5名以上で構成された団体・グループ（15歳以上（中学生は除く）35歳未満の者を主体とするものに限りします。）

代表者は20歳以上とします。なお、活動参加者全員が未成年者の場合は20歳以上の引率者が必要です。※年齢は申請時点とします。

2 助成事業

熊本地震被災地において活動する事業で、次のすべての要件を満たすものとします。

- (1) 被災地の活動について、受入・協働先の団体・グループ、施設等の同意を得るなど事前に計画された活動であること。
- (2) 被災地で2日以上支援活動を行うものであること。
- (3) 被災地での活動終了後、報告会・学習会等を実施し活動の成果の共有・評価を行うこと。

【活動内容の例】

- ① 被災者の暮らしやまちの復興につながる活動
（避難所・仮設住宅の支援活動、被災地のコミュニティ活動の支援等）
- ② 被災者への励ましにつながる活動
（災害等により損傷した写真の修復活動、傾聴ボランティア活動等）
- ③ 被災した子ども達の心と身体の復興支援
（避難している子どもの支援活動、被災地と兵庫県の子どもたちの交流活動等）
- ④ 被災高齢者の見守り・生きがいつくりにつながる活動
（被災高齢者が講師となった昔の遊び・伝承事業、ふれあい喫茶等）
- ⑤ 被災地のまちのにぎわいつくりにつながる活動
（被災地域での特産品PR支援、まちの再発見マップづくり等）
- ⑥ その他、被災地の地域づくり活動の活性化支援等
（手作り作品の販売による収益金寄附活動）

3 事業の実施期間

平成28年7月～29年3月

4 助成対象経費・助成限度額・募集事業数

(1) 助成対象経費

次に掲げる経費の実費（領収書のあるものに限る）を助成します。

- ① 活動費（消耗品費、印刷費、使用料・賃借料など）
- ② 旅 費（被災地への往復及び被災地内での交通費、被災地での宿泊費）

〔対象外経費〕

- ・経済的でない経費（グリーン車等の利用料金、高額な宿泊費等）
- ・食糧費 ※炊出しボランティアや交流活動等の食材費は対象となります。
- ・謝金・報償費
- ・被災地での支援活動として必要性が低い経費（お揃いの T シャツ・ビブズの作成等）

(2) 助成限度額 上限20万円 ※概算払い（上限 1/2）も可能です。

(3) 募集事業数 9組程度

5 募集期間

募集事業数に達するまで随時受付をします。（審査の都合上、出発日の 14 日前までには必ず応募をお願いします。）

6 応募書類・応募先

- (1) 応募書類は「ひょうごボランティアプラザ」のホームページからダウンロードしてください。

- (2) 応募書類の提出

持参による応募を原則とします。（郵送による場合は事前相談が必要）

ひょうごボランティアプラザ

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町 1-1-3 神戸クリスタルタワー 6 階

〈ホームページ〉 「ひょうごボランティアプラザ」のトップページで「熊本地震災害ひょうご若者被災地応援プロジェクトの募集について」をクリック

<http://www.hyogo-vplaza.jp/>

- (3) 相談

受入・協働先をはじめ、事業内容や記載方法について疑問等がありましたら、ひょうごボランティアプラザ（下記 8）にご相談ください。

7 助成事業の決定

選考委員会において、事業内容などを審査したうえで決定します。

8 お問い合わせ・相談窓口

◇ひょうごボランティアプラザ（兵庫県社会福祉協議会）

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町 1-1-3 神戸クリスタルタワー 6 階

電話 078-360-8845 FAX 078-360-8848

（月曜から金曜 9:00～17:00）

熊本地震災害ひょうご若者被災地応援プロジェクト事業助成決定団体・グループ

(平成28年6月28日現在)

団体・グループ名	活動日程	活動人員	活動場所	活動内容	事業費(円)	助成決定額(円)
関西学院大学 Club of World Citizens	平成28年9月17日 ～平成28年9月21日 (現地3日)	10人	熊本県阿蘇郡西原村	【現地】 ①サツマイモやニンニクの植え付けと収穫、田植え等の農業支援、②避難所で夏祭りや収穫祭等を行うコミュニティ活性化支援を行う。 【報告会・学習会】 大学内で写真展や報告会を実施するなど成果を共有し風化防止活動を行う。	262,000	200,000
神戸大学持続的災害支援 プロジェクト Konti	平成28年9月14日 ～平成28年9月19日 (現地4日)	40人	熊本県阿蘇郡西原村、南阿蘇村 を中心とした周辺地域	【現地】 足湯・手芸カフェ、親子一緒工作づくり、子どものイベント・学習支援、朝カフェなど、様々な世代に対応した活動を実施する。 【報告会・学習会】 報告会などを通し、被害の実情伝達や支援の企画・宣伝を行うなどの防災啓発活動も行う。	1,644,000	200,000
熊本・大分・東北・神戸 きずなプロジェクト	平成28年8月7日 ～平成28年8月10日 (現地2日)	8人	熊本県熊本市、上益城郡益城町	【現地】 小学校3校と避難所を訪れ、傾聴ボランティア等を行うとともに、バルーンアートなどを活用し子どもたちとの交流を行う。 【報告会・学習会】 8月中にボランティアクラブ部員で学習会を実施し、10月22,23日の学園祭で活動報告の発表を行う。	330,360	200,000
NPO法人 ワカモノデカラプロジェクト	平成28年8月26日 ～平成28年8月29日 (現地2日)	30人	熊本県阿蘇郡南阿蘇村	【現地】 倒壊家屋の瓦礫の撤去、家財家具の片付け等や傾聴ボランティアや子どもたちへの支援活動等、仮設住宅移住後の生活支援活動も行う。 【報告会・学習会】 9月18日に事後研修会を実施する。	605,000	200,000
兵庫県立東灘高等学校 被災地支援隊	平成28年8月4日 ～平成28年8月7日 (現地2日)	25人	熊本県阿蘇郡西原村	【現地】 瓦礫の撤去や農業復興などの活動を行うとともに、避難所・テント村を訪問し、被災者の心に寄り添うことができる活動を行う。 【報告会・学習会】 8月下旬～3月末までに、活動成果を検証し、今後の支援活動を考える事後学習会を行うとともに、被災マップを作成し、広く地域住民や企業にも現地の状況を報告する。	1,115,900	200,000
特定非営利活動法人 プレーンヒューマニティー	平成28年7月8日 ～平成28年7月11日 (現地2日)	10人	熊本市内農家、崇城大学ボラン ティアビレッジ	【現地】 現地の農家で田植え、用水路の修繕、畑の整備等を行う。 避難所、仮設住宅、倒壊家屋等に立ち寄り現地の状況を肌で感じるにより、現地で必要とされる支援内容、継続支援の必要性について考える。 【報告会・学習会】 7月16日に振り返り研修を行うとともに、活動内容や現地状況の報告書を作成する。	313,890	200,000

※記載内容は予定も含みます。

ホーム

施設

事業

支援機関

コラボネット

耳寄り情報

平成28年熊本県熊本地方を震源とする地震について

更新日：平成28年7月14日

災害情報

- ◆ 熊本県
- ◆ 大分県
- ◆ 内閣府

災害ボランティアセンター情報

- ◆ 全国社会福祉協議会
- ◆ 熊本県災害ボランティアセンター特設サイト「熊本地震・豪雨ボランティア情報」

【熊本県】

市町村	開設日	情報発信サイト	備考
熊本県社会福祉協議会	-	HP / Facebook / twitter	
熊本市社会福祉協議会	4月22日	HP / Facebook	
益城町社会福祉協議会	4月21日	HP / 災害VC / Facebook	
西原村社会福祉協議会	4月24日	HP / Facebook	
南阿蘇村社会福祉協議会	4月20日	HP / Facebook	南阿蘇村生活復興支援VCに名称変更
南阿蘇村災害ボランティアセンター 立野サテライト	5月14日	HP	土砂崩れのためしばらく活動停止
南阿蘇支援ボランティア 竹田ベースキャンプ	5月1日	HP / Facebook	事前申込が必要、毎週火・金の作業を中止
御船町社会福祉協議会	4月29日	HP / Facebook	週末(土・日)のみ、7月23日より移転
大津町社会福祉協議会	4月22日	HP / Facebook	事前登録制、九州管内
宇土市社会福祉協議会	4月	HP / twitter	地震災害と豪雨災害のそれぞれに拠点を設置
※八代市社会福祉協議会	-	HP	通常のVCで対応、八代市内
※阿蘇市社会福祉協議会	4月26日	HP	5月3日閉所、VCで対応
※合志市社会福祉協議会	4月22日	HP / Facebook	5月14日閉所、生活復興支援VCで対応
※菊陽町社会福祉協議会	4月22日	HP / Facebook	5月20日閉所、生活復興支援VCで対応
※菊池市社会福祉協議会	4月19日	HP / Facebook	5月22日閉所、生活復興支援VCで対応
※宇城市社会福祉協議会	4月25日	HP / Facebook	5月31日閉所、生活復興支援センターで対応
※嘉島町社会福祉協議会	4月26日	HP / Facebook	5月31日閉所、生活復興支援センターで対応
※甲佐町社会福祉協議会	4月25日	HP / twitter	熊本県内
※山都町社会福祉協議会	4月21日	HP	山都町内

【大分県】

市町村	開設日	情報発信サイト	備考
大分県社会福祉協議会	-	HP	
竹田市社会福祉協議会	5月1日	HP / Facebook	「南阿蘇支援ボランティア竹田ベースキャンプ」開設
※由布市社会福祉協議会	5月1日	HP	新規ボランティア募集終了

義援金情報

- ◆平成28年熊本地震災害義援金(兵庫県)
- ◆平成28年熊本地震義援金(熊本県)
- ◆平成28年熊本地震災害義援金(日本赤十字社)
- ◆平成28年熊本地震義援金(熊本県共同募金会)
- ◆平成28年熊本地震義援金(中央共同募金会)
- ◆平成28年熊本地震災害救援募金(神戸市社会福祉協議会)

災害派遣等従事車両証明書

- ◆平成28年熊本地震に伴う被災地救援等のために使用する車両の取り扱いについて(熊本県)(～11月30日)

災害ボランティア割引情報

鉄道

- ◆JR西日本(学生向けの割引、社会人向けの割引)

フェリー

- ◆名門大洋フェリー(大阪南港～新門司港)(～9月30日)
- ◆フェリーさんふらわあ(大阪～別府、神戸～大分、大阪～志布志)(～9月30日)
- ◆オレンジフェリー(九四航路、関西航路)(～9月30日)
- ◆宮崎カーフェリー(神戸～宮崎)(～9月30日)
- ◆阪九フェリー(神戸～新門司、大阪～新門司)(～6月30日)
- ◆新日本海フェリー(全航路)(～6月30日)

高速バス

- ◆西日本鉄道・九州産交バス(福岡・福岡空港～熊本線(ひのくに号))(～8月31日)

支援活動の助成について

- ◆熊本地震復興サポート事業(兵庫県)
- ◆パートナーシップ活動助成(神戸市)(～7月29日)
- ◆平成28年熊本地震災害による被災者・被災地緊急救援活動(Yahoo!基金)(～7月10日)
- ◆「平成28年熊本地震」災害時ボランティア活動助成(大和証券福祉財団)(～6月10日)
- ◆平成28年熊本地震災害に関わる支援活動助成(日本財団)(～6月30日)
- ◆赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金・九州」助成事業(中央共同募金会)(6月3日～15日)

災害救助法の適用(平成28年4月14日)

熊本県熊本地方の地震により、多数の者が生命又は身体に危害を受け、又は受けるおそれが生じていることから、熊本県は県内全45市町村に災害救助法の適用を決定しました。

熊本地震被災者の皆さまへ 政府応援情報は [こちら](#)

ひょうごボランティアプラザの動きは [こちら](#)

[サイトマップ](#)[アクセスマップ](#)[Q&A](#)[利用規約](#)[プライバシーポリシー](#)

ひょうごボランティアプラザ

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー6階
TEL: (078)360-8845 FAX: (078)360-8848 E-mail: vplaza@hyogo-wel.or.jp
Copyright © hyogo-vplaza All Rights Reserved.